



SOKA University

University Guide 2026

Discover your potential



Contents

004	建学の精神
005	淵限
006	ご挨拶
007	沿革
008	SOKA University Grand Design 2021-2030
010	大学施設
012	大学院紹介
014	学部紹介(経済経営学部/法学部)
015	学部紹介(文学部/教育学部)
016	学部紹介(理工学部/看護学部)
017	学部紹介(国際教養学部/通信教育部)
018	日本語・日本文化教育センター/データサイエンス教育
019	国際交流
020	創価一貫教育(系列校)
021	アメリカ創価大学/地域社会との共創
022	研究・学習活動
023	学生の学びを360°サポート
024	SDGsの達成を目指す
025	学友会(クラブ活動)

建学の精神

- 人間教育の最高学府たれ

Be the highest seat of learning for humanistic education.

- 新しき大文化建設の揺籃たれ

Be the cradle of a new culture.

- 人類の平和を守るフォートレス(要塞)たれ

Be a fortress for the peace of humankind.



創立者は開学の日、

「英知を磨くは何のため 君よ それを忘るるな」

「労苦と使命の中にのみ 人生の価値(たから)は生まれる」

との指針を学生に贈りました。世界の平和、民衆の幸福という使命を忘れることなく、
真摯に学問に取り組む労苦の中から、創造的人間が生まれる—それが創価大学です。

淵源

先師・牧口常三郎先生、恩師・戸田城聖先生の創価教育の理想を受け継いだ池田大作先生により、
創価大学は、1971年4月2日に3学部4学科の体制で開学。現在では、7学部10学科、6研究科、2専門職大学院、
通信教育4学部へと発展しています。



牧口常三郎 先生

戸田城聖 先生



創立者
池田大作 先生

1930年、創価教育の父、牧口常三郎先生は、『創価教育学体系』を発刊しました。「創価」とは、価値の創造を意味します。その価値の中心は生命にほかなりません。生命の尊厳と人類の幸福を守る平和社会の建設という目的に向かって挑戦を続け、いかなる困難にあっても価値の創造をやめない—そうした人格を有する、すなわち「創造的人間」の育成にこそ、創価教育の目的があります。

この牧口先生の透徹した生命尊厳の哲学は、戸田城聖先生に引き継がれ、そしてその遺志を継承した池田大作先生によって、創価教育の理念を実現するため、1971年に創価大学は創立されました。

1928年東京都生まれ。創価学会第3代会長。

創価学会名誉会長。創価学会インタナショナル(SGI)会長。創価大学・創価女子短期大学のほか、アメリカ創価大学、創価学園、民主音楽協会、東京富士美術館、東洋哲学研究所、戸田記念国際平和研究所などを創立。平和、文化、教育の推進に尽力。世界各国の指導者、知識人との対話を行った。国連平和賞はじめ、ブラジル南十字国家勲章、オーストリア共和国学術・芸術最高勲位栄誉賞、ケニア口承文学賞、桂冠詩人の称号などや海外の諸大学、学術機関から400を超える名誉博士号などの名誉学術称号を受ける。主な著書に『人間革命』(全12巻)、『新・人間革命』(全30巻)、対談集に『二十一世紀への対話』(A.トインビー)、『闇は暁を求めて』(ルネ・ユイグ)、『二十一世紀への警鐘』(A.ベッチェイ)、『生命の世紀への探求』(L.ポーリング)、『二十世紀の精神の教訓』(M.ゴルバチョフ)など。また『青春対話』、童話『さくらの木』など青少年向けの著作も多数。

2023年11月逝去。95歳の生涯。

ご挨拶



学校法人創価大学 理事長

秋谷 芳英

AKIYA Yoshihide

創立55周年の佳節を迎えた創価大学は、昨年、留学生受け入れ開始から50年の節目を刻みました。その象徴的な成果として「QS世界大学ランキング」への初ランクインを果たしたほか、SDGsへの貢献を測る「THEインパクトランキング」でも高い評価を得るなど、国内外から確かな信頼を寄せられています。本学が掲げる「学生第一」の人間教育は、世界市民教育の拠点として着実な進化を遂げてきました。

創価教育100周年に向けた中長期計画「Soka University Grand Design 2021-2030」は、本年4月より、後半5年間を見据えた次なるフェーズへと移行します。生成AIの急速な進展など、大学を取り巻く環境は激変していますが、こうした社会変化を主体的に捉え、2026年度スタートの新学部・学科の開設をはじめ、時代に即した新たな学びの場を構築してまいります。

今後も創立者・池田大作先生が築かれた人間教育の伝統をさらに輝かせ、学生一人ひとりの可能性を最大限に引き出し、世界市民を育む大学としての真価を一層発揮してまいります。



創価大学学長

鈴木 美華

SUZUKI Mika

創価大学は開学以来、世界に開かれた学びの場を目指し、現在72カ国・地域、279大学へと交流ネットワークを広げてきました。多様な背景を持つ学生が互いに学び、語り合う光景は、今やキャンパスの日常となっています。生成AIの普及により社会が激変する今こそ、対面での対話を重ね、学び合う価値は一層高まっています。本学はこの変化を「人間教育」を深める好機と捉え、新技術を知恵へと変えながら、仲間との切磋琢磨を通じて「豊かな人間性」と「未来を拓く知性」を育む教育を推進してまいります。

現在、本学では「価値創造を実践する世界市民の育成」を掲げ、さらなる教育の充実に進んでいます。多様な価値観を尊重し、他者の痛みに寄り添いながら、地球的課題の解決に挑む。そうした豊かな人間性と知性を備えた人材を育むことが本学の使命です。

今後も建学の精神を根幹に、多様性あふれるキャンパスで学生一人ひとりが自分らしく輝けるよう、教職員一同、真心を込めて誠実にサポートしてまいります。

沿革

- 1971年4月 創価大学開学(経済・法・文学部)
- 1975年4月 大学院経済学・法学・文学研究科修士課程開設
- 1976年4月 経営・教育学部、通信教育部(経済・法学部)、別科開設
- 1977年4月 大学院経済学・法学・文学研究科博士課程開設
- 1982年4月 通信教育部教育学部開設
- 1985年4月 創価女子短期大学(経営科・英語科)開学
- 1986年4月 大学院文学研究科教育学専攻修士課程開設
- 1988年4月 文学部人文学科開設
- 1989年4月 大学院文学研究科教育学専攻博士課程開設
- 1990年4月 文学部日本語日本文学科・外国語学科(中国語専攻・ロシア語専攻)開設
- 1991年4月 工学部(情報システム学科・生物工学科)開設
- 1992年4月 大学院文学研究科人文学専攻修士課程開設
- 1994年4月 大学院文学研究科人文学専攻博士課程開設
- 1995年4月 大学院工学研究科情報システム学専攻・生物工学専攻修士課程開設
- 1997年4月 大学院工学研究科情報システム学専攻・生物工学専攻博士課程開設
- 2004年4月 専門職大学院 法務研究科(法科大学院)開設
創価女子短期大学の2学科が「現代ビジネス学科」「英語コミュニケーション学科」に名称変更
- 2007年4月 文学部が人間学科の1学科7専修に改組
- 2008年4月 専門職大学院 教職研究科(教職大学院)開設
- 2009年4月 大学院文学研究科国際言語教育専攻開設
- 2013年4月 看護学部看護学科開設
- 2014年4月 国際教養学部国際教養学科開設
- 2015年4月 工学部を「理工学部」に名称変更／「共生創造理工学科」を開設
- 2018年4月 大学院国際平和学研究科国際平和学専攻開設／通信教育部文学部人間学科開設
創価女子短期大学が2学科から1学科となり、「国際ビジネス学科」開設
- 2020年4月 工学研究科を「理工学研究科」に名称変更／「生命情報工学専攻」を「生命理学専攻」に改組
- 2022年4月 大学院教育学研究科教育学専攻開設
- 2026年4月 経済経営学部ビジネス学科／理工学部グリーンテクノロジー学科／理工学部生命理工学科開設
法学部法律学科を「法律政治学科」に、教育学部教育学科を「心理・教育学科」に名称変更
創価大学創立55周年

創価大学エンブレム 英知と雄飛の象徴



本学のエンブレムは、中央にペン、両側に鳳凰の翼をデザインしています。ペンは英知を示し、鳳凰の翼は世界への雄飛を意味しています。

SOKA University Grand Design 2021-2030

創価大学は、創立50周年を迎えた2021年より、新たな10カ年の中長期計画「SOKA University Grand Design 2021-2030」を始動しました。1971年の開学以来、創価大学は創立者池田大作先生が示された「建学の精神」の実現へ向け、不断の改革により発展を遂げてきました。2010年に発表した創価大学グランドデザインでは、「建学の精神に基づき『創造的人間』を育成する大学」を目標に掲げ、スーパーグローバル大学創成支援事業の採択に象徴されるキャンパスのグローバル化、中央教育棟建設をはじめとした教育環境の整備など、およ

そ10年間の取り組みにより幾多の人材を国内外の諸分野に輩出してきました。2030年を目指した本取り組みにおいては、「世界市民教育」、「SDGsの達成」、「多様性あるキャンパスの構築」などをコンセプトとして、「価値創造を実践する『世界市民』を育む大学」とのテーマを掲げました。これまでの理念と伝統を重んじるとともに、社会に新たな価値を生み出す大学であり続けるため、『創価教育学体系』発刊100周年となる2030年を目指し、歩んでいきます。

指針

- 平和・環境・開発・人権の分野を中心とした「世界市民教育」に関するプログラムの高度化をはじめ、持続可能な社会を構築するための能力を育む教育研究環境を整え、価値創造を実践する世界市民教育の拠点化を図ります。
- 全学をあげて「平和」の実現に貢献する研究を推進するとともに、大学・諸機関および研究者とのネットワークを形成し、SDGsの達成へ先導的役割を担います。
- 海外からの留学生や社会人など、多様な価値観や背景をもつ人々が共存し、共生するキャンパスを実現します。

創価大学のあるべき姿

価値創造を実践する「世界市民」を育む大学

教育



世界市民教育の拠点を構築

研究



国際的評価を高める研究

SDGs



SDGsへの先導的貢献

ダイバーシティ



多様な価値観を育むキャンパスの構築

経営基盤の構築 持続的に発展するための基盤を確立

グローバル人材を世界に

スーパーグローバル大学創成支援事業の継続・発展

建学の精神を基盤に2010年に策定した創価大学グランドデザインを発展させた「Soka University Grand Design 2021-2030」を軸とし、スーパーグローバル大学創成支援事業終了後も「人間教育の世界的拠点」の構築に向けたさまざまな取り組みを行っています。2025年3月に文部科学省が実施した事後評価では、5段階評価（S～D）のうち2番目に高い「A」の評価を得ました。なお、これまでの2回の中間評価（2017年度・2020年度）において、最も高い「S」評価を受けております。

QS世界大学ランキング 総合「1400位+」にランクイン

英国の大学評価機関クアカアレリ・シモンズ(QS)が発表した「QS世界大学ランキング2026」において、本学は総合で「1400位+」、国内順位では43位タイにランクインしました。このランキングは、世界の研究者・雇用者による評判や論文引用数、国際共同研究のネットワークに加え、教員や学生の多様性などを多角的に測定するものです。本学は特に以下の指標において、国内トップクラスの高い評価を受けています。

○主要指標別の順位

外国籍教員の比率	世界345位	国内3位
世界の研究者による評価	世界700位+	国内39位
世界の雇用者による評価	世界700位+	国内32位
外国人学生の比率	世界800位+	国内20位



THE 日本大学ランキング2025の「国際性」で、8位(首都圏では3位)にランクイン

「THE 日本大学ランキング2025」(2025年4月3日発表)において、本学は「国際性」の分野で、5回連続トップ10入りとなる8位(首都圏では3位)にランクインし、総合62位(私立大学では20位)で、同ランキング開始の2017年以来、最高順位となりました。

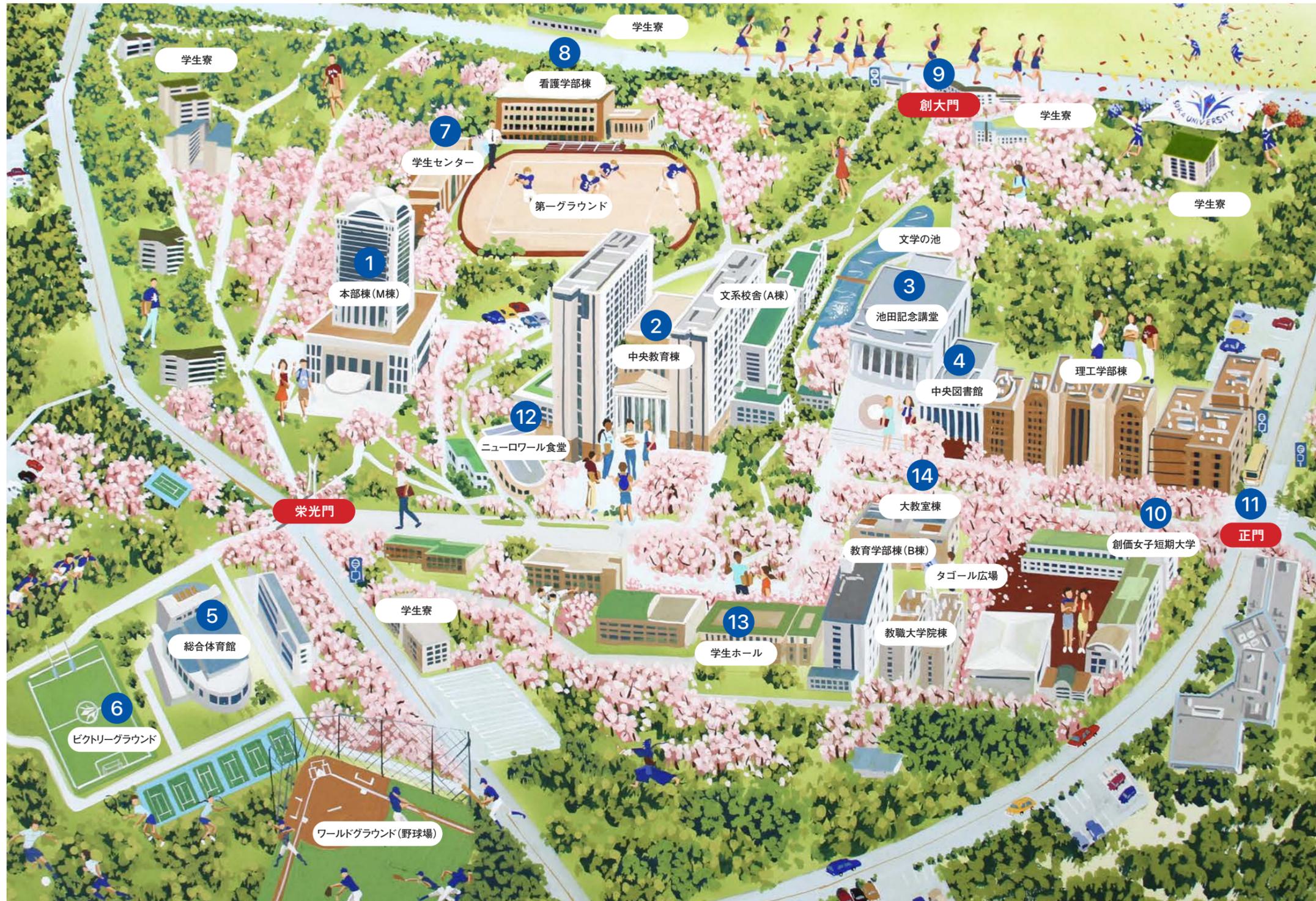
同ランキングは、教育リソース、教育充実度、教育成果、国際性の4分野16項目で構成されており、在学生の声のほか、学生の成長および学習成果といった大学の教育力を測る設計となっています。

本学が8位にランクインした国際性分野は、「外国人学生比率」や「日本人学生の留学比率」、「外国語で行われている講座の比率」「外国人教員比率」などの結果を根拠に算出し、ランキング付けをされています。

Japan University
Rankings
Powered by **THE**

大学施設

創価大学は、学園都市・東京都八王子市にあり、約870,000㎡(東京ドーム18個分)の面積を誇る広大なキャンパスには、学生生活や研究活動を充実させるためのさまざまな施設があります。



1 本部棟(M棟)



2 中央教育棟
(GLOBAL SQUARE)



3 池田記念講堂



4 中央図書館



5 総合体育館



6 ビクトリーグラウンド



7 学生センター



8 看護学部棟



9 創大門



10 創価女子短期大学



11 正門



12 ニューロワール食堂



13 学生ホール
(売店・各種サービス)



14 大教室棟
ニュープリンスホール

大学院

一般教養ならびに専門的学識を基礎にして、さらに広い視野に立った高度な学術理論および応用を教授・研究することを目的として、大学院を開設しています。

経済学研究科

経済学専攻は経済学専修、経営学専修と国際ビジネス専修(英語による授業)に分けられます。学生の自主学習能力と問題意識を重視し、系統的な教育を行います。外国人留学生が多く、国際的な研究交流を行うのに最適な場です。

経済学専攻

経済学専修

理論経済学／計量経済学部門(金融経済論、時系列分析、ファイナンス理論)／応用経済学部門(環境経済学、労働経済学、農業経済学、国際貿易論)／経済史部門(日本経済史、近代日本経済、西洋経済史)／グローバル経済部門(開発経済学、アフリカ経済論、アジア経済論)など

経営学専修

経営学／経営史／ビジネス・エコノミクス／会計学／経営戦略論／国際経営戦略／人的資源管理論／財務会計／管理会計／財務管理論など

国際ビジネス専修

Business Economics / Business Statistics / Accounting / Financial Management / Human Resource Management / Marketing

文学研究科

4つの専攻と7つの専修を含みます。専攻範囲が広いため、学識豊富でさまざまな文化的価値を追究し、自身の精神的価値を高めることができる人材を育成することを目標とします。

英文学専攻

英語英米文学専修

英語文学／英語文化学／英語学／英語教育学など

社会学専攻

グローバル・スタディーズ専修

社会学研究法／比較文化研究法／地域研究法／社会福祉学研究法／比較文化特論／地域研究特論／社会福祉学特論

哲学歴史学専修

哲学研究法／歴史学研究法／哲学史／倫理学／日本史／東洋史／西洋史／外書研究など

人文学専攻

日本文学日本語学専修

日本文学研究法／日本語学研究法／日本古典文学／日本近代文学／近代日本語学／日本語教育／日本文学文献研究など

仏教学専修

仏教学研究法／インド仏教思想／中国仏教思想／日本仏教思想／仏教倫理学／サンスクリット語仏教文献特論／パーリ語仏教文献特論など

日本語教育専修

コミュニケーション研究／第二言語習得理論／日本語教育研究法／言語教育政策研究／日本語教材研究／日本語語彙表現研究／現代日本文学研究／海外日本語教育実習など

国際言語教育専攻

英語教育専修

コミュニケーション研究／第二言語習得理論／第二言語教授法／社会言語学と教育／外国語としての英語教育における言語と文化／学術・専門分野のための英語／英語教育実践演習など

法学研究科

学生が法律と政治学の知識を深く理解するように導き、理論と実践の結合を重視します。また、「大衆の立場」「一般の人々の立場」をしっかりと心に刻んだ、「民衆のための法律学・政治学」の研究と教育を目標とします。

法律学専攻

憲法／行政法／民法／刑法／商法／民事訴訟法／刑事訴訟法／国際法／労働法／租税法／法史学／政治学／国際政治など

教育学研究科

教育学や心理学の分野において、高度な学術を社会において応用展開できる専門的な職業人、新たな視点で斬新かつ独創的な研究を推進する研究者を育成します。

教育学専攻

教育学専修

教育学／教育方法学／教育心理学／教育工学／教科教育学など

臨床心理学専修

臨床心理学／心理統計法／人格心理学／発達心理学／犯罪心理学／精神分析／投映法／心理療法など

国際平和学研究科

英語で教育・研究を行い、国際関係論・平和学の各分野で実現可能な具体的政策や施策を構想できる高度専門職業人を養成します。

国際平和学専攻

国際関係の理論／平和・世界市民論／女性学／人間の安全保障と人権／ヨーロッパ統合論／アジア太平洋における制度構築／民族紛争と解決／グローバル化と移民問題など

理工学研究科

現代社会の課題解決に重要な情報システム工学、生命理学および環境共生工学の3つの専攻で構成されています。先端科学技術の飛躍的発展に対応できる高水準の研究者と専門技術者を育成します。

情報システム工学専攻

数理情報システム／情報処理システム／情報伝達・制御システムなど

生命理学専攻

生命分子科学／細胞生命科学／生命情報科学／生命機能科学など

環境共生工学専攻

地球環境化学／生物圏科学／環境応答工学／持続可能環境工学など

専門職大学院

○法科大学院(法務研究科)

法科大学院は少人数教育を徹底することで、学生と多彩な経歴・経験をもつ教員との人的ふれあいの機会を多く設け、豊かな人間性を備えた法曹を養成しています。また、高度な専門的法律知識、幅広い教養、国際的な資質および責任感、職業倫理を習得することで、建学の精神に基づいた法曹を多く輩出しています。

○教職大学院(教職研究科)

教職大学院では、“人間教育”を実践できる教員を育成するために、学校現場のニーズに基づきつつ、研究者教員と実務家教員による多様な方法を取り入れた授業を展開しています。同時に、長期間の実習研究、国内外での実地研究が特色です。小学校・中学校・高等学校教諭の専修免許状と教職修士(専門職)の学位が取得できます。

経済経営学部

Faculty of Economics and Business Administration

ビジネス学科

Department of Business Studies



3つの学修コースと8つの科目群(モジュール)

2年次春学期に3つの学修コースから1つを選択。さらに2年次秋学期には8つの科目群(モジュール)から2つ以上を選び、将来の目標に必要な知識やスキルを段階的かつ確実に習得できます。これにより、希望する進路に求められる専門性を着実に深め、社会で活躍できる人材への成長を目指します。

Humanistic Leadership Program (HLP)

1年次から2年次にかけて履修する「Humanistic Leadership Program (HLP)」を通じて、これからの時代に求められるリーダーシップを育成します。HLPでは、単にメンバーを「ぐいぐい引っ張る」のではなく、「互いの個性を引き出し合う」ことを重視。社会課題の解決を目指す中で、チームとして何ができるかを深く探求し、メンバーそれぞれの強みを生かし合いながら、ポジティブな変革をもたらす力を養います。

英語プログラム「GLOBE」

自分のレベルに合った習熟度別のクラスで学べるほか、学部独自の海外ビジネススクールへの留学や交換留学を含む長期留学、短期海外研修を用意しています。将来的に海外大学院への進学など、目指す進路に応じて着実に英語力を高めることができます。

選抜型プログラム「HOPE」

より高いレベルで経済学を深く学びたい学生のために、特別選抜型プログラム「HOPE」を用意しています。このプログラムでは、選抜された少数の学生が互いに切磋琢磨しながら、高度な経済理論への理解を深めていきます。

法学部

Faculty of Law

法律政治学科

Department of Law and Politics



学部独自の留学制度

法学部が有する独自の留学制度として、ノルウェーのオスロ大学とイギリスのウォーリック大学との交換留学制度があります。本学法学部からは、両大学に毎年各2名の学生を派遣しています。約10カ月間の交換留学では、法学・政治学などを英語で学び、国際社会で活躍する力を養います。

Global Lawyers Program (GLP)

「法曹コース」として、弁護士、裁判官、検察官などの法曹(法律家)を目指して、創価大学法科大学院(ロースクール)の既修者コースなどに進学することに特化した教育プログラムです。きめ細かな指導で、「人間力」「国際力」「専門力」「実践力」を伸ばします。

多彩なキャリア・コース制

一人ひとりの夢を実現するため、公務員、企業就職などキャリア別に4つのコースを設置。充実したコース別のキャリアサポートとして、ワークショップを中心とした学生のキャリア形成や公務員試験対策、またファイナンシャル・プランナー(FP)、社会保険労務士など多彩な法律系資格の取得も強力にバックアップします。多様なキャリア設計が可能です。

モジュール制を導入

法学部では現在のコース制に加えて、コース横断的でテーマ・分野ごとに学びを深める仕組みとして、「モジュール(学問領域別科目群)」を導入しています。具体的には、①人権・自由、②エコノミーと法、③社会生活と法、④地方創生・まちづくり、⑤環境・サステナビリティ、⑥国際・外交、⑦アジア公共経営:基幹、⑧アジア公共経営:展開を開発しています。

文学部

Faculty of Letters

人間学科

Department of Humanities



価値創造の人間学(“おもしろい”を未来の力に)

2007年に掲げられた「生命の尊厳の探究者たれ」「人類を結ぶ世界市民たれ」「人間主義の勝利の指導者たれ」という3つの指針を土台に、自身の「好き!」や「おもしろい!」を、未来を切り拓く力へと変える学びを展開します。自分らしい人生をデザインする「人間力」を磨き、自他共の幸福と世界の平和を創造できる主体的な人材を育成します。

自分らしさの発見(専門性を磨く)

英語・英語文化、日本語、日本文化、表現文化、歴史・社会・人類文化、哲学・宗教・思想文化、社会福祉など、希望するコース(もしくは専修)を選択し、主体的に学びながら、自身の考えを論理的に説明する力、創造的に自身の声を発信する表現力を培います。そうした学修成果をリサーチペーパー、創作物などの卒業研究として結実させます。

ライフ・デザイン力(独創的なキャリア教育)

語学、専門性、教養の3つの力を、自分の人生デザインに生かしていく教育をしています。文学部では英語・国語・社会・地歴・公民の教員免許が取得可能。日本語教師の育成にも力を入れています。社会福祉士国家試験では私大トップクラスの合格率を誇り、教員採用試験、公務員試験、企業就職でも成果を上げています。

幸福を拓く人間力(ウェルビーイングの探究)

自らの理想や個性を深く掘り下げ、それぞれのフィールドで「ウェルビーイング」を実現できる人材を養成します。多様な価値観を尊重し、自分も他者も幸福になれる道を模索する。文学部での多角的な学びは、不確実な時代において、自分らしく価値を創造し続けるための確かな羅針盤となります。

教育学部

Faculty of Education

心理・教育学科

Department of Psychology and Education

児童教育学科

Department of Elementary Education



真の人間教育のためのカリキュラム

教育学と心理学の観点から人間教育を考えるとともに、さまざまな教科教育を通じ教師としての指導力を強化します。また、グローバル教育を通して視野を広げ、世界で活躍できる教育者を目指します。さらに、児童教育学科では幼児教育や特別支援教育も学ぶことができます。

社会の要請にこたえる教育プログラム

教育学部では、幼稚園、小学校、中学校社会科、高校公民科、特別支援の各教員免許に対応しています。また、心理・教育学科では国家資格である「公認心理師」の養成課程も設置しています。

充実の学校体験活動

学校体験活動は公立の小・中学校、私立の幼稚園に通い、現任教員に協力する形で学習指導補助、放課後の補助学習指導などを行う制度です。学校現場や児童生徒にふれることで、自らの教員としての適性を学ぶことができます。

教員採用に強い

教職キャリアセンターには校長経験者などが相談員として、教員採用試験などの相談に随時応じています。また、課外では、模擬授業クラブ(ステップラボ)の活動を通じて学生の授業力を養成しています。

理工学部

Faculty of Science and Engineering

情報システム工学科

Department of Information Systems Science

グリーンテクノロジー学科

Department of Green Technology

生命理工学科

Department of Life Science and Technology



情報システム工学科

21世紀の基幹産業である情報通信システム分野を柱に、情報技術を支える基本的な理論や開発技術を学びつつ、未来志向の幅広い応用技術とシステムの思考法を身につけます。

グリーンテクノロジー学科

1～2年次においてグリーンテクノロジーコア科目で基礎科目を学び、2年次から地球環境理工学、資源循環理工学、環境情報処理、グリーンテクノロジー社会実装の4つの専門科目を体系的に学びます。また、これらの知識と技術を社会に還元するための、環境ビジネスや国際技術協力に関する実践的な能力を養います。

生命理工学科

生命科学の理論と応用を「STEAM教育」で深め、再生医療や感染症対策といった「医療貢献」、さらには「理科教員」の養成を通じて社会に寄与します。SDGsが掲げる健康な社会の先にある、心の豊かさと調和した「ウェルビーイング」な未来を実現する人材を育成します。

理工学部独自の学習サポート制度

さまざまな学生の志向および修得状況に合わせ、専門導入科目の設置や大学院生の先輩が実習・実験をサポートするTA(ティーチング・アシスタント)制度。教員採用試験や国際社会で活躍したい人のためのプログラムも用意しています。

看護学部

Faculty of Nursing

看護学科

Department of Nursing



豊富な教養科目による「知力」と「人間力」の育成

総合大学の強みを生かした豊富な教養科目を有機的に体系化した「創価コアプログラム」を通じて、基礎的な素養を身につけ、ケアを実践するための「知力」と「人間力」を育成します。

「創造的な看護実践能力」を育成するカリキュラム

看護職として不可欠な素養となる、あらゆる人々の健康生活に応じて、課題を解決するために、自在に知恵を発揮し支援・援助できる創造的な看護を提供する能力を育むカリキュラムを配置しています。

グローバルマインドを持った看護師の育成

習熟度別に分けたクラスで行われる実践的な英語教育や海外研修などを通じて、文化による健康や看護についての捉え方の違いなど、多様性と看護の役割について学修し、グローバルな健康上の課題に対応できる人材を育成します。

国際教養学部

Faculty of International Liberal Arts

国際教養学科

Department of International Liberal Arts



早期に全員が1セメスターの海外留学

2年次から1セメスターの海外留学が必修です。また、学部自体が多国籍の教員で構成されています。生きた英語力、異文化理解力、コミュニケーション力、国際性を身につけることができます。

学部授業はすべて英語で実施

学部の専門科目はすべて英語による学生参加型で行われます。「世界と交渉できる」高度な英語運用能力と論理的・水平思考能力が習得できます。「国際性」「学際性」「実践力」の3つの力を養成し、世界を自分自身のステージにできる人材を育てています。

社会問題への学際的アプローチを経験

「歴史・文化」「国際関係・政治」「経済・経営」「教育・心理」と幅広い学問分野を学び、さまざまな観点から課題を解決し、物事を探求していく力を養います。また、英語で人に伝える力、国際的なプレゼンテーションスキルなども磨いていきます。

きめ細かな学習指導を実現

国際教養学部では、教員によるきめ細かな学習指導とクラス運営が可能です。少人数・学生参加型の教育により、パランスの取れた判断ができ、他者の利益や将来世代への負担にまで考えを及ぼすことのできる、優れた人材を育成します。

通信教育部

Distance Learning Division

(開設学部) 経済経営学部 / 法学部 / 教育学部 / 文学部



多くの方に教育の門戸を広く

通信教育部は1976年4月に開設され、社会の多くの方々のために学問の門戸を広く開いてきました。創価教育の父・牧口常三郎先生は“生活しながら学び、学びながら生活する”との「半日学校制度」を提唱されました。この創価教育を展開しているのが通信教育部です。経済経営、法、教育、文の4学部5学科を開設し、幅広い豊かな教養を身につけ、新しい文化の興隆、人類の平和に貢献する「創造的人間」の育成を目指しています。

学びやすいオンラインでの学修環境 充実した学修サポート

年齢、職業、居住地に関わらず、大学教育の門戸を広く開き、いつでも、どこでも学べる学修環境を提供しています。インターネットを利用し、オンラインで科目試験、スクーリングを実施しており、自宅等での学修のみで卒業に必要な単位を修得することも可能です。

教員養成にも力を入れ、教員採用試験のサポートを充実させ、累計4,000名以上の合格者を輩出していることも大きな特徴です。グローバル化が進み、ニーズが高まる2024年度から国家資格も設置された「日本語教員」資格取得のためのコースや、日商簿記(2級)、ファイナンシャル・プランナー(3級)試験対策となる科目も開講しています。

これまでに23,000名を超える学生が通信教育部を卒業し、社会のさまざまな分野で活躍しています。

日本語・日本文化教育センター

世界各国の留学生が生きた日本語に出会う

創価大学に学ぶ留学生などに対し、日本語および日本文化の科目を提供することを主な目的に設置されています。



日本語研修課程

日本語研修課程は、創価大学の学部への入学を希望する外国人学生に対し、日本語教育を行う課程です。学生の日本語レベルに応じて、1年間の日本語学習を行い、学部での講義を受講できる日本語能力を養うことを目的としています。

特別履修課程

特別履修課程は、創価大学で開講している専門科目および共通科目を受講することを希望する外国人学生を受け入れる課程です。外国人学生用に開講している日本語科目はもちろん、語学力に応じて日本語や英語で教授する専門科目の履修も可能です。在籍期間は、1学期ごととなり、最長1年間まで在籍することができます。

交換留学、短期研修

世界72カ国・地域に及ぶ海外交流校の中で、交換留学生制度を実施している大学から毎年約150名の交換留学生を受け入れ、日本語教育や共通、専門科目の履修を行っています。また、夏季、春季の休業期間を利用し、短期日本語研修も実施し、海外から多くの方が参加しています。

文理横断のデータサイエンス教育

急速に進化するAI社会において、データを正しく読み解き、活用する力は全学生にとって必須のスキルです。創価大学では、全学部生を対象とした体系的な教育プログラムを展開。文理の枠を超え、高度な情報技術を使いこなす力を養います。

文部科学省「MDASH」認定プログラム

本学の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」は、文部科学省の認定(リテラシーレベルおよび応用基礎レベル)を受けています。これは、学生の関心を高め、適切に理解・活用できる基礎的・応用的能力を育成する優れたプログラムとして国から認められたものです。

全学生が学ぶ「データサイエンス入門」

1年次の共通科目において、データの適切な扱い方からAIの特性、情報倫理までを網羅。文系・理系を問わず、すべての学生がDX時代の基盤となるリテラシーを習得します。

専門知を深める「応用基礎レベル」の展開

リテラシーを土台に、各学部の専門領域(法学、経済学、文学等)に応じた高度な分析手法を学びます。実際の社会データを用いて課題解決を試みる演習を通じて、データに基づいた客観的な思考力と実践力を磨き上げます。

国際交流

72 カ国・地域 279 大学と交流

世界72カ国・地域、279大学(2026年1月現在)とネットワークをもつ創価大学では、多くの学生が留学すると同時に、世界から多くの交換留学生や研究者が集まっています。キャンパス内には、海外からの留学生とコミュニケーションをとれる場所が多数あり、留学生と共同生活する国際学生寮もあります。

ヨーロッパ

バッキンガム大学 [イギリス]
ポーニャ大学 [イタリア]
ソフィア大学 [ブルガリア]

アフリカ

カイロ大学 [エジプト]
ウィットウォーターズランド大学 [南アフリカ]
ナイロビ大学 [ケニア]

オセアニア

グリフィス大学 [オーストラリア]
ラ・トローブ大学 [オーストラリア]
他多数

中東

ヘブライ大学 [イスラエル]
アンカラ大学 [トルコ]

中南米

ハバナ大学 [キューバ]
サンパウロ大学 [ブラジル]
グアナフアト大学 [メキシコ]

アジア

タマサート大学 [タイ]
北京大学 [中国]
慶熙大学 [韓国]
フィリピン大学 [フィリピン]
インドネシア大学 [インドネシア]
南洋理工大学 [シンガポール]

北米

デラウェア大学 [アメリカ]
コルゲート大学 [アメリカ]
モントリオール大学 [カナダ]
カルガリー大学 [カナダ]



◎交流大学一覧の情報は、右記QRコードよりご確認ください。



国際機関との交流

UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)

本学はUNHCRと「難民高等教育プログラム」の協定を締結し、2017年より同事務所の推薦による難民学生の受け入れを開始しました。教育機会の提供のみならず、難民映画祭の共同開催といった啓発活動にも注力しており、難民問題への理解を深めるための多角的な連携を推進しています。

UNDP(国連開発計画)

本学は2017年に、「UNDP(国連開発計画)」と包括連携協定を締結しました。以来、学生のインターンシップ派遣やUNDP専門家による講師派遣、情報交換などを通じて、教育・研究の両面で連携を深めています。

創価一貫教育

「健康な英才主義」「人間性豊かな実力主義」の教育方針のもと、1967年、創立者池田大作先生は人類の幸福と世界平和の構築を目指し、「創価学園」を創立。1971年に創価大学を開学したほか、東京と関西に小学校、中学校、高等学校、札幌に幼稚園を設立し、幼稚園から大学までの創価一貫教育システムを築き上げ、そのシステムは世界へと広がっています。生涯にわたる幸福の実現を目的とする人間教育、世界市民の育成、創造的人間の育成を根幹とした創価一貫教育が、将来にわたって発展、充実していくために、教育プログラム、学校運営、接続教育など教育環境の整備をより一層進め、日本のみならず世界的規模の一貫教育のモデルケースとなるべく恒常的な教育改革を続けていきます。

(学)創価学園 小学校・中学校・高等学校・幼稚園

- [北海道] 札幌創価幼稚園（札幌市）
- [東京都] 東京創価小学校（小平市）
創価中学校（小平市）
創価高等学校（小平市）
- [大阪府] 関西創価小学校（枚方市）
関西創価中学校（交野市）
関西創価高等学校（交野市）

海外姉妹校

- 韓国幸福幼稚園
- 香港創価幼稚園
- シンガポール創価幼稚園
- マレーシア創価幼稚園
- 創価インターナショナルスクール・マレーシア
- ブラジル創価学園



東京創価小学校(東京・小平市)



創価中・高等学校(東京・小平市)



韓国幸福幼稚園



香港創価幼稚園



関西創価小学校(大阪・枚方市)



創価中・高等学校(大阪・交野市)



シンガポール創価幼稚園



ブラジル創価学園



札幌創価幼稚園(北海道・札幌市)



マレーシア創価幼稚園



創価インターナショナルスクール・マレーシア

アメリカ創価大学

アメリカ創価大学(SUA)は2001年に、4年制のカレッジとしてカリフォルニア州オレンジ郡に開学しました。平和・人権・生命の尊厳を教育理念として創立されたSUAは、東西文明の視点を大切にしながら、豊かな国際性・多様性を備えた地球市民を育成しています。また、2020年には、3年次より履修する集中コースに「生命科学」が追加となり、幅広い分野へ卒業生を輩出しています。

4つの指針

- 「文化主義」の地域の指導者育成
- 「人間主義」の社会の指導者育成
- 「平和主義」の世界の指導者育成
- 自然と人間の共生の指導者育成



地域社会との共創

理工学部 丸田ゼミ 資源循環を学ぶ「食べられるスプーン」プロジェクト

理工学部丸田晋策ゼミを中心とした学生が、八王子産の吟醸酒「高尾の天狗」の製造過程で生じる副産物である米粉をアップサイクルして開発した「食べられるスプーン」を用いた教育プロジェクトの一環として、八王子市立南大沢中学校での特別授業と試食会を実施しました。大学コンソーシアム八王子の2025年度学生企画事業補助金に採択された本プロジェクトは、八王子市学校教育課・教育指導課との連携のもと、子どもたちの創造性や探究心を育むSTEAM教育への貢献と資源循環型社会の推進を目指しています。



文学部 西川ゼミ 伝統と健康をつなぐ「桑の日ウエルフェス」

文学部西川ハンナゼミの学生が中心となり、八王子市の地域振興と健康増進、桑畑の持続可能な発展を目的とした「桑の日ウエルフェス」を開催しました。9月8日の「桑の日」に合わせたイベントでは、学生や地元企業が連携し、八王子産桑パウダーを使った食品販売や、学生による「八王子今昔雙六」の配布、理工学部の地域活動紹介、代表のクラブ団体による催しなどを行いました。



研究・学習活動

ヒューマン glycome プロジェクト (Human Glycome Atlas Project)

本学の糖鎖生命システム融合研究所は、文部科学省大規模学術フロンティア促進事業「ヒューマン glycome プロジェクト (HGA)」に、東海国立大学機構並びに自然科学研究機構と共に、実施主体機関の一つとして参画しています。人間の身体には、核酸、タンパク質、糖鎖という、生命を司る3つの鎖があります。核酸、タンパク質については、先行研究により、多くの構造が解明されてきましたが、糖鎖については、その構造が複雑で多様なためその多くは解明されていません。「糖鎖」は主に細胞表面のタンパク質や脂質に結合している、糖がつながった生体分子であり、「ヒューマン glycome」とは、ヒトの網羅的糖鎖情報を意味しています。

HGAでは、「糖鎖」を対象に、ヒトの身体に存在するすべての糖鎖の構造、病気と糖鎖の関係、糖鎖が作られるしくみなどの情報を網羅的に取得し、それらの情報を格納した世界中の人が使えるナレッジベース「TOHSA」を構築し、「糖鎖」の全容解明の礎を築きます。生体内で糖鎖が合成されていくシステムの統合的理解や糖鎖構造の違いから病気を診断する技術の開発など、糖鎖情報の飛躍的な拡充を通じて、医療・ヘルスケア革新の実現を目指します。



Human Glycome Atlas Project



糖鎖生命システム融合研究所

データサイエンス領域で実践的な力を養う

データサイエンス領域にも力を入れており、企業と連携した実践的な問題解決型演習として、2021年度から日本IBM株式会社、アクセンチュア株式会社の協力のもと、産学連携科目「データサイエンス演習」を開講してきました。

2025年秋学期の講義では、アクセンチュア株式会社から講師を招き、コンピュータ言語のPythonを用いたAI分析の基礎、現実社会のデータを用いた問題解決型の協働学習を行いました。

社会でデータサイエンス人材のニーズが高まる中、データサイエンスを学ぶ学生たちが、ビジネスの実課題・実データを用いた協働学習に取り組むことで、より現実感をもって課題解決力を伸ばしていくことを目指します。



学生の学びを360°サポート

共に学び、高め合う、ラーニング・コモンズ「SPACe」

中央教育棟GLOBAL SQUARE2階にある約2,000㎡の広大なエリア、それがラーニング・コモンズ「SPACe」です。「学生の学びを360°サポートする」をコンセプトに、学部生だけでなく、大学院生、留学生、教職員が各自の考えや経験を生かし、互いの学びをサポートする場として機能しています。

メインのラーニングエリアではピアラーニングゾーンで課題に取り組んだり、ブースでディスカッションしたりすることも可能です。またセミナールームや映像視聴ルーム、畳敷きの個室、静寂な個人学習スペースもあります。

コロシアムを思わせる円形スペースのラーニングアリーナでは、2つの壁面にプロジェクターの映像を投影できるホワイトボード

が設置されており、学部生、大学院生、留学生が「学び」を報告する「シェア・タイム」もここで開かれています。

さらに、「WLC Self-Access Center」では、留学生と話し交流できる数々のイベントが開催されます。英語をはじめ中国語、ロシア語、スペイン語、韓国語など最大10カ国の言語を学べるのはもちろん、本学の語学教育の目標である「その国の文化を理解し、使える語学を身につける」ことを具現化しています。

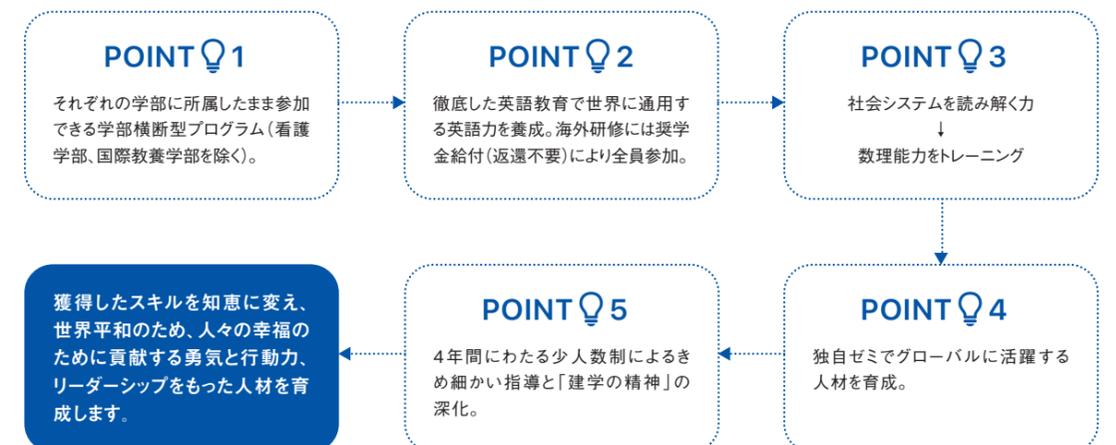
SPACeは、仲間とともに自由な発想で利用できる協同学習の空間です。アイデアをより深め、発信していく場であるとともに、アクティブな学びの場として広く活用されています。

グローバル・シティズンシップ・プログラム

創価大学では、将来、国際社会などを舞台に活躍したいという強い志をもつ学生のために、「グローバル・シティズンシップ・プログラム」(Global Citizenship Program:GCP)を開講しています。入学後、5学部からエントリーにより選抜されます。「人類の平和を守るフォートレス(要塞)たれ」との建学の精神

を具現化し、将来、国際社会などの舞台での活躍を目指す学生の可能性をさらに伸ばすこのプログラムは、創価大学におけるオナーズプログラムとして位置づけられており、特色のあるプログラムです。創価大学の優れた教育資源を集結した試みです。

GCPの特徴



SDGs (持続可能な開発目標) の達成を目指す

創価大学では、教育・研究などの取り組みを通して、SDGs (持続可能な開発目標) の達成と「誰も置き去りにしない」という地球社会の実現に貢献しています。

ナイルの源流エチオピア・タナ湖で過剰繁殖する水草バイオマスの管理手法と有効利用プロセスの確立 ※1



●概要

エチオピア最大のタナ湖では、東京23区の面積に相当する6分の1が外来植物ホテイアオイに覆われ、さまざまな環境・経済問題を引き起こしています。これらの問題を解決するために、健全な湖沼生態系への修復に取り組み、ホテイアオイの刈り取り手法と収穫されたバイオマスの有効活用を研究開発していくものです。得られたバイオマスは栄養価の高いスーパーフードの「スピルリナ」や現地農作物を生産

するための肥料や土壌改良材に変換され、「見えない飢餓」が蔓延するエチオピアでの児童の栄養改善を目指します。

※1 科学技術振興機構 (JST) および国際協力機構 (JICA) による地球規模課題対応国際科学技術協働プログラム (SATREPS) に採択事業

本学のSDGsの取り組み

●SDGsグッドプラクティス

「SDGs」の達成を目指して、貢献度の高い取り組みや、実現可能性の高いアイデアを称え、助成することを目的に、2022年度よりSDGsグッドプラクティスを開始しました。入賞したグループには賞状と副賞が贈られます。また、「SDGs達成に資する実現可能性の高いアイデア」として表彰されたグループには助成金が支給されます。



●SDGs達成に貢献する人材育成とネットワーク構築

「持続可能な町づくり」とのテーマのもと、本学キャンパスに、環境、気候変動、持続可能なビジネスなどの分野でSDGs達成に向けて取り組む実践者9名を招き、第5回目となる「SDGs達成に向けた実践者と学生・教員の対話・ネットワーキング会合」を開催しました。本企画は、本学学生のSDGsに関する活動や研究に対して、学外の実践者からフィードバックをいただくなど分野を超えた対話を行い、人的ネットワークを広げるとともに研究や活動の充実に繋げることを目的としています。



「THEインパクトランキング2025」で全国私立大学9位にランクイン 「SDG4:質の高い教育」の分野で同1位 (国内総合2位) を獲得

「THEインパクトランキング2025」(2025年6月18日発表)の総合ランキングにおいて、創価大学が全国私立大学9位タイ(国内総合40位タイ)にランクインしました。また、SDG別ランキングにおいて、「GOAL04:質の高い教育をみんなに」の分野で全国私立大学1位(国内総合2位)、「GOAL10:人や国の不平等をなくそう」の分野でも同1位タイ(国内総合2位タイ)を獲得しました。

本ランキングは、イギリスの高等教育専門誌『Times Higher Education (THE)』が発表するもので、大学のサステナビリティへの貢献度を国連のSDGs(持続可能な開発目標)の枠組みに基づいて評価・可視化したものです。2025年は世界130の国・地域から2,526校がランクインしました。

○各SDGsの分野で主に評価されたポイント

質の高い教育をみんなに 国内私大1位

- ◎教員養成で日本トップクラスの実績
 - ・教員採用試験は全国有数の合格実績

- ◎地域に開かれた学びの実践
 - ・学校現場の教員向けセミナーを開催

- ◎学び直し・再挑戦を支える充実の制度
 - ・多数の公開講座を開催し、年齢・背景を問わず、誰もが学べる環境を整備

人や国の不平等をなくそう 国内私大1位タイ

- ◎すべてのメンバーが活躍できる環境づくり
 - ・多様性と包摂性を重視し、平等な機会を促進するダイバーシティ・インクルージョン推進センターの設置
 - ・発展途上国からの留学生およびUNHCRと連携した難民の学生の受け入れ

- ◎大学独自の奨学金制度
 - ・経済的に修学が困難な学生をサポート

学友会

建学の精神に基づく人格形成の一環として、クラブ活動を中心とした課外活動を通じて学生と教職員が親睦を深め、心身ともに向上していくことを目的とした団体です。90を超える団体が所属し、「体育会」「文芸局」「学術局」に大きく分かれています。



陸上競技部 駅伝部 第102回箱根駅伝 総合8位

©Getsuriku

○体育会

- アメリカンフットボール部
- クルーダンス部
- 硬式野球部
- サッカー部
- サイクリング部
- 柔道部
- 器械体操部
- 男子庭球部
- 男子バスケットボール部
- 男子バドミントン部
- 男子バレーボール部
- 男子ハンドボール部
- ラグビー部
- ラクロス部
- 合気道部
- ダブルダッチ部
- 歩こう会
- 弓道部
- 剣道部
- 準硬式野球部
- 水泳部
- ソフトテニス部
- 卓球部
- 女子庭球部
- 女子バスケットボール部
- 女子バドミントン部
- 女子バレーボール部
- チアリーディング部
- テコンドー部
- 軟式野球部
- キックボクシング部
- 陸上競技部
- 駅伝部
- 男子フットサル部
- 女子ハンドボール同好会
- 海洋調査探検部
- ボクシングサークル

○文芸局

- ヴォーカルグループ
- 演劇部
- ギター部
- 写真部
- 書道部
- 創作部
- Soka Music Society
- 日伝研茶道部
- 美術部
- 放送部
- 落語研究会
- ロック研究会
- Soka Kinetic-music Association
- イチャリパチョーデーズ
- 映画研究会
- 華道部
- フラチーム
- モダンダンス部
- 銀嶺合唱団
- 新世紀管弦楽団
- 箏曲部
- Soka Magician's Program
- 滝山太鼓
- パイオニア吹奏楽団
- Prince Mercy Jazz Orchestra
- LIGHT MUSIC
- Pride of SOKA
- Soka Apparel Crew
- アカペラバンド
- S.U.Entertainment
- 創茶会
- 滝山かるた会

○学術局

- イタリア・スペイン研究会
- 沖縄平和研究会
- 生命哲学研究会
- 中国研究会
- Debate Network
- パン・アフリカ友好会
- フランス研究会
- ロシア研究会
- Save Children Network
- 創価幼稚園研究会
- 国際連合研究会
- 児童文化研究部
- 創価教育学研究会
- 天文研究会
- 東南アジア研究会
- ハンブル文化研究会
- ラテンアメリカ研究会
- 鳥人間研究会
- Mission Hands
- Animal Breakthrough Team
- VoiceUp Japan SOKA
- 創価アグリレボリューション
- ボードゲーム研究会
- 四権分立研究会
- ポケモンサークル

学校法人 創価大学

東京都八王子市丹木町1-236 〒192-8577
T. 042-691-2211(代表)
www.soka.ac.jp

2026年4月発行
Printed in Japan

◎交通のご案内

電車: JR中央線八王子駅
京王線京王八王子駅からバスで20分
車: 中央自動車道:八王子ICから約7分(約3km)
圏央道:あきる野ICから約12分(約6km)



Discover your potential